

劇団わらび座が、中泊町では13年ぶりとなる公演を7月22日(日)に行いました。

演目は江戸時代末期の北前船「夢千丸」を題材にしたミュージカル「北前ザンブリコ」。一座には中泊町出身の丸山裕子さんが「およし」役で出演し、悲しい過去を背負った女性役を演じていました。

劇中で夢千丸の目的地が小泊湊であることが告げられると、会場から歓声が上がりました。中里横笛愛好会のみなさんも友情出演しました。

物語の終盤、夢千丸が小泊入港すると、歓迎の太刀振りを披露するという演出で、会場を盛り上げていました。



丸山裕子さん (一番左)



中里横笛愛好会の友情出演

メバルを余す所無く堪能

「浜のかーちゃんず」
お料理教室



さばき方を実演



試食タイム

メバルのさばき方を教える料理教室を、浜のかーちゃんず(代表 長内エツ子)が7月16日(月)に中央公民館で開きました。

メバルのさばき方や調理方法を学んで、メバルをもっと身近に感じてもらうだけでなく、地産地消の推進を図ろうと開催されました。

この日は町内外から20人が参加し、メバル定食(メバルの刺身、煮付け、潮汁の3品)を調理しました。濱館町長もかけつけ、マイ包丁で腕前を披露しました。

参加者は「初めての事づくしで難しく感じたが、自分で調理したのでとても美味しい」と満足していました。

